



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社だいこう証券ビジネス 上場取引所 東  
 コード番号 8692 URL http://www.daiko-sb.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 斎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大矢 光一 TEL 03-3666-2231  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,566	55.9	2,036	152.5	2,160	141.7	1,107	36.1
25年3月期第3四半期	13,191	46.2	806	—	894	—	813	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,504百万円 (38.2%) 25年3月期第3四半期 1,089百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	43.49	43.36
25年3月期第3四半期	31.95	31.87

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	58,780	26,167	43.1	994.10
25年3月期	52,534	25,094	46.2	953.95

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 25,306百万円 25年3月期 24,284百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	47.4	2,400	116.8	2,600	115.6	1,300	45.7	51.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	25,537,600株	25年3月期	25,537,600株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	80,789株	25年3月期	80,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	25,457,138株	25年3月期3Q	25,457,532株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10
(1) 自己資本規制比率（個別） .....	10
(2) 株式売買高（先物取引を除く）（個別） .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策による景気回復への期待感から円安や株価上昇もあり、緩やかな回復基調にありました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画（平成23年度から平成25年度まで）の最終年度となる平成25年度において、『本格的な業容拡大』の実現を果たすため、引き続き、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした諸施策に鋭意取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、NISA（少額投資非課税制度）関連業務の受託開始や株式市況の回復により業務量が増加したこと等により、営業収益は205億66百万円（前年同四半期比55.9%増）、営業利益は20億36百万円（前年同四半期比152.5%増）、経常利益は21億60百万円（前年同四半期比141.7%増）となりました。なお、オフィス移転の決定に伴う固定資産の減損損失や、金融商品取引責任準備金繰入れを特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は11億7百万円（前年同四半期比36.1%増）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① バックオフィス事業

バックオフィス事業におきましては、NISA（少額投資非課税制度）関連業務の受託開始により口座開設業務やメーリング業務等が大幅に拡大いたしました。これらの結果、営業収益は116億79百万円（前年同四半期比106.1%増）、セグメント利益（営業利益）は11億92百万円（前年同四半期比11億34百万円増）となりました。

#### ② ITサービス事業

ITサービス事業におきましては、証券バックオフィスシステムの提供および業務サポート等が堅調に推移したものの、前期にあった証券会社向け大型統合案件の影響等により、営業収益は67億30百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3億28百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

#### ③ 証券事業

証券事業におきましては、株式市況の回復により顧客証券会社からの委託手数料や信用取引に伴う金利収入等が増加いたしました。これらの結果、営業収益は18億79百万円（前年同四半期比88.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2億55百万円（前年同四半期比384.7%増）となりました。

#### ④ 金融事業

金融事業におきましては、証券担保ローンの融資残高が減少したこと等により、営業収益は2億77百万円（前年同四半期比9.8%減）となりましたが、株式市況の回復を受けて貸倒引当金繰入額が減少したこと等により、セグメント利益（営業利益）は2億29百万円（前年同四半期比47.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は587億80百万円で、前連結会計年度末に比べ62億45百万円増加しました。これは主に、営業貸付金、ソフトウェア等が減少した一方で、現金及び預金、信用取引資産、短期差入保証金等が増加したことによるものです。また、負債合計は326億13百万円で、前連結会計年度末に比べ51億72百万円増加しました。これは主に、短期借入金、短期受入保証金等が増加したことによるものです。純資産合計は261億67百万円で、前連結会計年度末に比べ10億73百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回（平成25年10月25日）公表の業績予想を修正し、営業収益266億円、営業利益24億円、経常利益26億円、当期純利益13億円を見込んでおります。

#### 修正の理由

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、株式市況の回復基調による影響に加え、営業費用及び一般管理費の抑制等により営業収益、営業利益、経常利益ともに前回予想を上回る見込みです。また、当期純利益は、オフィス移転の決定に伴う固定資産の減損損失の計上により前回予想のとおりとなる見込みです。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,627	8,266
預託金	576	806
営業貸付金	14,731	12,360
信用取引資産	11,823	14,623
信用取引貸付金	7,689	9,293
信用取引借証券担保金	4,133	5,330
たな卸資産	19	69
営業未収入金	1,807	2,541
有価証券	202	202
短期差入保証金	5,480	7,735
その他	680	320
貸倒引当金	△166	△63
流動資産合計	39,782	46,863
固定資産		
有形固定資産	1,743	1,410
無形固定資産		
ソフトウェア	6,170	5,416
その他	253	210
無形固定資産合計	6,424	5,627
投資その他の資産		
投資有価証券	2,862	3,247
その他	1,910	1,835
貸倒引当金	△188	△204
投資その他の資産合計	4,584	4,878
固定資産合計	12,752	11,916
資産合計	52,534	58,780
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	8,942	10,302
信用取引負債	8,047	8,536
信用取引借入金	2,113	1,781
信用取引貸証券受入金	5,933	6,754
有価証券担保借入金	250	133
有価証券貸借取引受入金	250	133
営業未払金	397	943
未払法人税等	504	199
短期受入保証金	4,962	8,607
賞与引当金	382	192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
その他	2,123	1,484
流動負債合計	25,609	30,399
固定負債		
退職給付引当金	1,120	1,164
その他	467	630
固定負債合計	1,587	1,795
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	243	418
特別法上の準備金合計	243	418
負債合計	27,440	32,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,903	8,903
資本剰余金	11,727	11,727
利益剰余金	3,125	3,851
自己株式	△53	△54
株主資本合計	23,703	24,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581	878
土地再評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	581	878
新株予約権	22	32
少数株主持分	786	828
純資産合計	25,094	26,167
負債純資産合計	52,534	58,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	13,191	20,566
営業費用	8,255	13,435
営業総利益	4,936	7,131
一般管理費	4,129	5,094
営業利益	806	2,036
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	34	72
受取賃貸料	20	20
その他	28	29
営業外収益合計	87	124
営業外費用		
為替差損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	894	2,160
特別利益		
投資有価証券売却益	1	44
受取解約違約金	—	42
保険解約返戻金	—	22
金融商品取引責任準備金戻入	373	—
その他	45	—
特別利益合計	420	109
特別損失		
固定資産除却損	3	6
投資有価証券評価損	—	49
子会社株式売却損	8	—
減損損失	45	319
事務所移転損失	—	122
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	174
その他	5	6
特別損失合計	64	678
税金等調整前四半期純利益	1,250	1,591
法人税、住民税及び事業税	355	319
法人税等調整額	△4	64
法人税等合計	351	383
少数株主損益調整前四半期純利益	899	1,208
少数株主利益	86	101
四半期純利益	813	1,107



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	899	1,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	296
為替換算調整勘定	4	—
その他の包括利益合計	189	296
四半期包括利益	1,089	1,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	1,403
少数株主に係る四半期包括利益	86	101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	5,665	6,222	996	307	13,191	—	13,191
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	60	47	—	—	107	△107	—
計	5,725	6,269	996	307	13,299	△107	13,191
セグメント利益	58	488	52	156	755	51	806

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

「I Tサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことなどにより、セグメント資産は前連結会計年度の末日に比べ、3,524百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	45	0	—	—	—	45

(のれんの金額の重要な変動)

「I Tサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、255百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	11,679	6,730	1,879	277	20,566	—	20,566
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	91	310	—	—	402	△402	—
計	11,771	7,041	1,879	277	20,968	△402	20,566
セグメント利益	1,192	328	255	229	2,006	30	2,036

(注) 1 セグメント利益の調整額30百万円には、セグメント間取引消去31百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	243	35	33	5	—	319

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 自己資本規制比率(個別)

		前事業年度末 (平成25年3月31日) (百万円)	当第3四半期会計期間末 (平成25年12月31日) (百万円)
基本的項目 (A)		22,666	23,532
補完的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等	604	911
	金融商品取引責任準備金等	243	418
	一般貸倒引当金	79	48
	計 (B)	927	1,378
控除資産 (C)		11,723	10,824
固定化されていない 自己資本 (A) + (B) - (C) (D)		11,869	14,086
リスク相当額	市場リスク相当額	532	489
	取引先リスク相当額	374	455
	基礎的リスク相当額	1,801	2,877
	計 (E)	2,708	3,822
自己資本規制比率 (D) / (E) × 100		438.2%	368.4%

(2) 株式売買高(先物取引を除く)(個別)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	
	株数(百万株)	金額(百万円)	株数(百万株)	金額(百万円)
合計	3,159	1,461,254	8,755	6,529,635
(自己)	(0)	(2,241)	(5)	(2,325)
(委託)	(3,159)	(1,459,013)	(8,750)	(6,527,309)
委託比率	99.9%	99.8%	99.9%	99.9%